

ロケット甲子園競技規則の変更について

NAR 米国ロケット協会バーバー会長より、6月23日に本年9月2日に発表されるTARC2010年の競技規則が日本モデルロケット協会に届きました。

ロケット甲子園は、2010年のTARC決勝戦に出場する日本代表チームを決定する競技会のため、TARC2010年競技規則により実施いたしますので、参加チームはご了承願います。

TARC2010 競技規則

1,全質量(生卵・高度計・エンジン等含む)1000g以下の一段式ロケット

2,使用エンジン トータルインパルス 80Ns以下(F型)、火薬量 125g以下

3,目標高度 825 フィート

4,目標滞空時間 40秒から45秒

生卵と高度計は、ロケット本体から分離されストリーマーにより損傷無く回収する。

この部分の滞空時間が測定される(パラシュートは使用できない)。

35秒以下、及び生卵損傷は失格となる。

ストリーマーと取り付け方法の規定もTARC2010年ルールに記載してあります。

ロケット本体はパラシュートを使用して回収。

5,TARC2010の原文を熟読して、参加をお願いいたします。